

クサボタン (キンポウゲ科) の北海道分布

千歳市 五十嵐 博

はじめに

クサボタンを初めて確認したのは2006年5月4日の松前町大鴨津川沿いであった。花は咲いておらず木質化した茎を見て何か分らず迷った記憶がある。その後、道南各地で見かけるようになった。道南分布を報告する。

文献調査

クサボタン *Clematis stans* Siebold et Zucc. (図1) は高さ1m前後の雌雄異株の多年草で、葉は長い柄があり対生し、3出複葉。小葉は長さ4-10cmの卵形で、浅く3裂し裂片には不揃いの鋭い鋸歯がある。花は花序の軸に輪生状に下向きにつき長さ1-2cm、花弁はなく、絹毛が生えるが筒の先が4裂して裂片が反り返る。果実は瘦果で、羽毛状の毛がある長く伸びた花柱が残る。開花は7月下旬～9月、山すその林縁や草地に生える。分布は北海道(渡島半

島)・本州である(梅沢2014)。

原(1983、1985):松前町、滝田(2001):江差町、梅沢(2014、2018):福島町などが報告されているが詳細な場所は不明である。

現地調査

2006年から2021年までの16年間で確認できた国土地理院2.5万分の1地形図名を北から列記する。渡島鮎川、陣屋、赤川、上ノ国、茂辺地、函館、石崎、湯ノ岱、神明、江良②、千軒、涌元、松前①、渡島福島①、渡島福島②、白神岬の図2に●で示した16箇所である。本種の道内分布は渡島半島に限られ、現時点の北限産地は渡島鮎川であるが、その南の陣屋との間が離れており未確認地がありそうだ。今後も継続調査の予定である。

(北海道野生植物研究所)



図1 クサボタン 左:花、右:果実 2012.8.25 上ノ国町夷王山

引用文献

原松次 . 1983. 北海道植物図鑑中 . 噴火湾社 , 室蘭 .

原松次 . 1985. 北海道植物図鑑下 . 噴火湾社 , 室蘭 .

滝田謙讓 . 2001. 北海道植物図譜 . 自費出版 , 釧路 .

梅沢俊 . 2014. 新北海道の花 (4 刷) . 北海道大学出版会 , 札幌 .

梅沢俊 . 2018. 北海道の草花 . 北海道新聞社 , 札幌 .

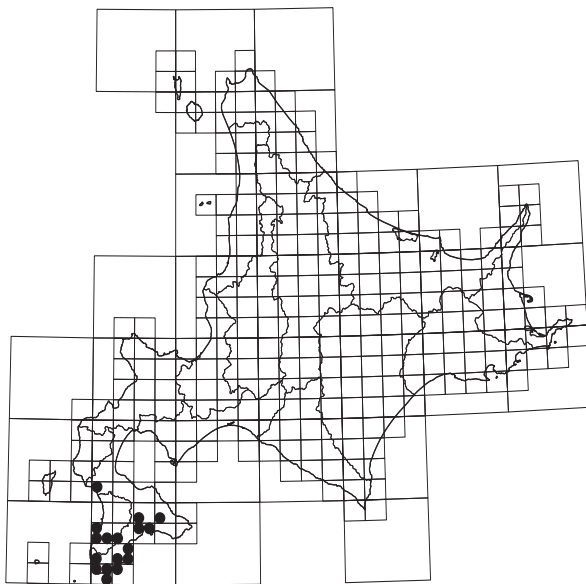


図2 クサボタンの北海道分布 2021